

花さき山



タイトル文字: 滝平二郎

ブックスタートクラブ

毎週水曜日は視聴覚室開放 day ♪

☆幼児向けおはなし会

6月 13日、27日 ⇒10:00~

6月 20日 ⇒10:30~

おはなし会

場所: 明野図書館 児童室

日時: 6月2日(土)・17日(日)

11:00~11:30

《携帯図書館講座》

場所: 明野図書館 視聴覚室

日時: 14:00~15:00

6月1日(金), 15日(金)開催

(お使いの端末をお持ち下さい)

《6月の特集コーナー》

場所: カウンター前「特集コーナー」

テーマは「ミステリー・ブック」

みなさんは本屋さんで、帯を見て本を選んだことはありますか?

6月の特集コーナーでは、タイトルも装丁も隠された本たちが並びます。

情報は帯のみ!

思わぬ本との出会いがあるかも?



音読会

場所: 明野図書館 視聴覚室

日時: 6月5日(火)

11:00~12:00

気軽に発声練習してみませんか?

6月のテーマは、

梶井基次郎『檸檬』です☆

6月は子供向け映画会

場所: 明野図書館 視聴覚室

日時: 6月23日(土) 10:30~

内容: 「サンタ・カンパニー」(30分)

少女ノエルがサンタのお手伝いをする、「トントウ」

になるために試験にのぞみます。そんな大事な時に…

読み聞かせもありますよ(*^_^*)

お申込不要です。無料でご覧いただけます。



『つくってかざろう!』

場所: 明野図書館 視聴覚室

日時: 6月24日(日)

11:00~12:00

何を作るのかはお楽しみに!

申込み不要・無料です。

折り紙やお絵かき

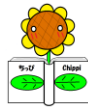
みんなで作って、

図書館の玄関に

かざろうよ☆

まってま〜す!(^~^)!





人生の 一め・あ・て一

大塚好雄

人は目で見、頭で考え、手で造り出す。目と頭と手の訓練に最も適する教科は美術であり、これが「美術教育の一め・あ・て一」である。40年前、私が33歳の時に、現職教員の内地留学の機会を得て、ご指導を受けた筑波大学高山正喜教授の言葉である。

幼いころから絵を描くことの好きだった私は、生涯描き続けることを望んでいた。そして職業として、美術教師の道歩むことになった。結城中学校、下館二高、県新美術館建設事務局、県近代美術館、県つくば美術館、水海道二高、下妻二高、そして笠間高校で定年退職を迎えた後、下館二高再任用、笠間日動美術館と、学校と美術館を行き来して来た。

職業人として美術教育に没入する一方、画家としてはもう一步踏み出せなかった、という悔いがある。しかし73歳になる今、これが自分の人生であり、これで精一杯であったというのが、偽らざる本音である。

学校でも美術館でも、絵画の好きな多くの方々に出会えて幸せであった。いつの時代でも、人間生活は絵画と密接な係わりを持っていた。今は世を去った古代人も中世人も近代人も、彼らが壁や板や布や紙に描いた絵画によって、その生活と想いを伝えてくれる。絵画の歴史は、人間の歴史でもある。現代の私達の絵画制作も、自分が人間として生きている証しであり、大きくみれば歴史に参加していることである。

納得し難いかも知れないが、世界は自然と人間とで成り立っている。「考える葦」と言われるように、人間は自然の一部であるが、人間が存在しなければ自然も認識されることはないのである。自然には地理学的な自然と、風景としての自然がある、と言われる。前者は科学的な、後者は芸術的な認識である。そして何れも人間の存在を前提としている。太陽も月も宇宙も、人間によって認識され、科学と芸術の対象となるのである。

現代は科学の時代と言われるように、人間の認識の大きな部分が科学を優先しているように思われる。人間は類人猿の頂点と認識されているが、猿には科学も芸術も無いことを忘れてはいないだろうか。人間の子供は人間を描くが、猿が猿を描くことは無いのである。

私は現在、油絵「KINU 洋画会」、水彩画「彩友会」、笠間日動美術館「水彩・パステル講座」、筑西市講座「パステル画」の皆様と定期的に、美術の素晴らしさを共有する機会を与えられている。

私は美術教育に係わってきた経験から、画家についての定義や評価が大きく変わったことを覚える。人間だれもが、いつからでも画家になれるのだ。子供のころみんなが好きだった絵画表現に再び出会えるのは、輝かしい老後であると思う。人間として人間らしく生きてきた証しを、絵画に表現できることの素晴らしさを、多くの皆様と見いだしていきたい。これは私自身にとっても、「人生の一め・あ・て」となっている。

おおつか よしお / 元茨城県立笠間高等学校長 前笠間日動美術館事務局長